

～ 障害者と共に歩む仲間たち～



NPO「じゃがいものおうち」 〒891-4404 屋久町尾之間136-6

TEL/FAX 0997-47-3588

発行責任者 松田 正 E-mail npo-jaga@po.minc.ne.jp

年度末を迎えて

昨年までは12月を年度末としていましたが、今度からは3月が年度末となります。NPO法人となつてからはヘルパー派遣事業なども予定していて、理事会で行政などとあわせた方が都合がいいと判断したからです。2月3月はウコン掘りやじゃがいも掘り、タンカンジュース作りと休みなしの状態になり年度末の事務とも重なり大変な時期になりますが、せっかくの共同作業を楽しんでやりたいと思います。またそんな活動が、NPO法人じゃがいものおうちを支えることにも繋がり、充実感と達成感、喜びとなってみんなに返っていくのだと思います。多くの方の参加協力をよろしくお願いします。

ヘルパー派遣事業については先の理事会で、もう少し体力をつけてからということにはなりましたが、条件整ったからとて急にやろうとしても出来るものではありません。介護保険や支援費制度などについての勉強会を今から重ねていきたいと思いますので、こちらの方への参加もよろしくお願いします。

(松田)

「じゃがいものおうち」餅つき大会の報告

昨年も両町の手をつなぐ育成会の皆さんとの交流会を重ねまして、育成会会員家族と、福祉課の方々、療育親の会、「じゃがいものおうち」の仲間たちの総勢60名以上の参加がありました。昨年は終始穏やかな天候に恵まれて早朝よりの準備に始まりホカホカとセイロの中の餅米が蒸かし上がると、我も我もと杵の取り合い、豆餅、よもぎ餅、玄米餅、あんころ餅、子供も大人もわいわいという歓声の中での餅つきでした。正月を島で迎えるため鹿児島や種子島の施設より帰られている方達とも今日は会えてよかったです。杵を持ったら離さない人、誰よりも力強く完璧な餅つきを見せてくれた人、丁寧に丸餅を丸めてくれた人、凧の絵にとても上手にくわす芋の葉を描いてくれた人、少し離れたところから観ていると、誰が誰やら、障害の有るとか無いとか、そんな事も忘れ楽しい時間を過ごすことが出来ました。

通所授産施設の現状報告やこれからの取り組み、家の中に閉じこもりがちな人達との交流の話もありました。心や身体に障害を持たれている方や団体との横の連携をとり福祉の声をまとめていく事が大切だと感じました。

3日も前より凧作りをしてくれた方、凧に絵を描く指導をしてくれた方、差し入れのおでんもおいしかった。早朝から暗くなる最後まで準備片付けに協力していただいた皆様、本当にありがとうございました。(楯)



“行事予定の案内です”

2月は、ウコン掘り、タンカンジュース作りと大変寒いなかを、ご苦労様でした。

3月、4月も、大きな行事がありますので、積極的な参加をよろしくお願いいたします。

日程が決定してない行事は、決定しだい連絡網か号外などで、お知らせいたします。

* じゃがいも掘り

期 日 3月7日(日) 予備日 3月14日(日)
集合時間 朝9時に、高平の畑に集合です。(いも煮をする予定です)

当日持ってくるもの おにぎり、食器、お茶、小さなバケツ、軍手などを持ってきて下さい。

* タンカンジュース作り (2回目)

期 日 3月中旬頃予定
集合時間 ポンタン館に9時に集合です。
当日持ってくるもの お弁当、前かけ、長靴、帽子などを持参して下さい。

(服装は清潔にお願いいたします)

“行事予定の案内です”

* スプリングキッズ (子どもの進学と進級を祝う会)

期 日 3月28日(日)
集合時間 「じゃがいものうち」に10時に集合
です。
当日持ってくるもの お弁当

* 産業祭出店

期 日 4月29日(木)

上記の行事のくわしい事は、連絡網でお知らせいたします。

(鈴木)

バリアフリー対応の店・屋久島ふるさと市場「島の恵み館」オープン

2月1日、宮之浦港入口交差点角に「幅広い人々とともに」という思いからバリアフリーを取り入れた店が開店しました。売店、喫茶、レストランで構成されています。

駐車場から1/12勾配のスロープ、店内は段差は無く、広い身障者専用のトイレ、店内やレストランでの十分なスペースの通路、と備えられています。いくつか「こうしてほしな〜」というところはありませんでしたが、開店からバリアフリーを取り入れた店は島内初めてではないでしょうか。大変うれしい事だとも思います。

これからも、「すべての人達に」他人の手を借りなくても気楽に行ける場所が増えることを期待したいと思います。

又、「島の恵み館」のもう一つの特徴は【地産地消】。地元のひと達と長い付き合いをしていきたいとの思いから、米・野菜・肉・果物・お菓子・おみやげ品・陶器・アクセサリ等、島内で賄うことを基本としているとのことです。これからの屋久島のあり方の一つとして、大切な事だとも思います。(編集部：丸山)

“勉強しています”

昨年の8月から、南のふるさと推進協議会主催の、南ふるの大学に、ゼミ生として参加させていただいております。

ゼミの内容は、福祉、地域経営、環境と、3つありますが、福祉と地域経営は、一緒のゼミになっており、私はこのゼミを、受講しております。

講師の方は、鹿大の教授、地域づくりコディネーター、福祉の専門の先生等4名おられ、それぞれ権威のある先生方です。

最初は、そもそも南のふるさと推進協議会とは、なんぞやというところからの勉強でした。この事に関しては、説明が長くなりますので、別の機会にします。

ゼミ生は、公務員、自営業、町議員、ボランティア活動家、海上自衛隊員等、バラエティに富んでいます。

私のテーマは、“障害者の自立支援交流事業による地域づくり”と題して、毎回レポートを提出して、それを講師や、ゼミ生にチェックをしていただき、議論をしながら修正をして、しっかりとしたものを作り上げるのが目標です。

本格的な勉強なので、かなりのエネルギーを必要としていますが、3月の卒業を目指して、頑張っております。いろんな人との交流があり、それが楽しみでもあります。

卒業の合格をいただければまた皆さんに報告したいと思っております。

(鈴木)

福祉マップ部会からの報告

12月11日から会を重ねていよいよ調査に入る段階になりました。調査票のチェックも兼ねて1月19日に役場に行ってみました。みんな驚きの連続となりました。

若く元気なときには見えなかったものがいっぱい見えてきました。やはりどうしてもこの福祉マップはつくらなきゃ！という思いが大きくなるばかりでした。

マップ作りの一番の目的は暮らしやすい街にすること。車いすを使うようになって、高齢のためあまり足があらなくなっても安心して外出できて、今までと同じように生活できる街にすることにあります。

建物や道路の整備は急には出来にくいかもしれませんが、困っている人がいたら手伝ったりまなざしを向けることは明日からでもできます。あわせて環境整備もできるところから進められればと思います。マップ作りがそんな動きのきっかけになればと切に願っています。

また多くの方に気づいてもらうためには「車いす体験」プログラムがぜひとも必要と感じました。これも近々企画したいと思います。あなたも体験してみませんか。

(松田)

お知らせとお願い

年会費及びボランティア保険について。

NPO法人じゃがいものおうちの大切な活動資金としての会費と、活動をするときの事故などに対するボランティア保険の期限が3月31日で切れます。それまでに手続を終えなければなりませんので、お忙しいとは思いますが同封の振替用紙に記入の上3月20日までに振り込んでくださるか、「じゃがいものおうち」にお届けください。

1年間、当会をお支え頂き感謝します。尚、引き続きご支援の程、お願い致します。

なお会費及び保険料は下記の通りです。

一般会員：年会費 1口 3,000円(家族は1人追加ごとにプラス1,000円)

賛助会員：年会費 1口 2,000円

賛助団体会員：年会費 1口 5,000円

ボランティア保険：1名につき年間300円

(問い合わせ：47-2981、四宮)

“みんなの窓”というコーナー設けることになりました

リサイクルコーナー(有料も含む)を兼ねて、通信を通してメッセージしたい事を、FAX、電話、口頭E-mailで「じゃがいものおうち」に届けて下さい。

* CD-RWドライブ(Win98)を譲って下さる方はいませんか? 尾之間 丸山正幸 TEL 47-3241

* ホットカーペット 二畳敷きか三畳敷きをお譲り下さい。(本体だけでもよろしいです)

小島 松本裕子 TEL 47-3040

寒い日が続いています。体が冷えると、免疫力が低下して、細菌やウイルスに感染しやすくなります。暖かくして体を守りましょう。

冬は汗が出にくいので、腎臓に負担がかかります。軽い運動をしたり、しょうが湯を飲むなどして発汗を促し、スギナのお茶(胃壁を荒らすのでチビチビ飲む)や、タンポポコーヒー(ダンデリオン)を飲んで利尿効果を高めましょう。
(喫茶じゃがいも 裕子)

新会員紹介

高見沢義男・信裕さんです。
東京からご家族と来て、平内(海中温泉入り口の山手)に住んでいます。
皆さんよろしく。

2月20日現在の会員数

一般会員数	75名
賛助会員数	25名
団体会員数	3団体

(編集部：丸山)

感謝録 平成15年12月～16年2月(五十音順・敬称略)

大久保芙美子・岡村和子・相良絹代・田畑ゆき子(旧姓)・日高酒店・堀切ミヨ子・峰平耕典・渡邊郁夫
Y N A C・加藤章・日高知子
(編集部：永綱)

編集後記

今回の通信編集は、「じゃがいものおうち」に新たに出来た編集部が作成しました。

通信作成では初めて?宮之浦まで取材にも行きました。それが上記にある、屋久島ふるさと市場「島の恵み館」の記事です。

今後通信の発行は2ヶ月おきに発行する事になりました。そして会員さんにも、編集部から原稿依頼が出来るので、原稿依頼が来た時には、書いて下さる事をお願いします。

そうでした!!編集部のメンバーの紹介を忘れていました。

それでは、メンバーの紹介を・・・

楯 水生輪・永綱 敏文夫妻・日高 広啓・丸山 正幸

よろしく申し上げます。

(編集者：ヒロ)